



エルシン
LSIN

ニュースレター 2008 No. 5

特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク

— 自然免疫と健康維持 —

LSINは、特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク(Nonprofit Organization Linking Setouchi Innate immune Network)の略であり、平成13年に設立された自然免疫賦活技術研究会を母体として、平成18年3月22日に設立されたNPO法人です。詳しくは <http://www.lsin.org> をご覧ください!!

— 第26回自然免疫賦活技術研究会開催される —



平成20年8月29日(金)、香川産業頭脳化センタービル(香川県高松市)で第26回自然免疫賦活技術研究会が開催されました。新規参加の6機関を含め、計59名(計40機関)が参加し、産官学から6題のプレゼンテーションがありました。

プレゼンテーションでは、四国経済産業局から構造改革特区制度をはじめとする地域活性化施策、財団の谷内田事業総括から都市エリア産学官連携促進事業(発展型)への参加に関する説明などがありました。金沢大学大野智氏は「自然免疫賦活を評価機軸とした補完代替医療の今後の展望」と題してがんを対象とした食品機能を確立することの難しさと今後の課題について講演し、併せてLSINの活動については強い期待を持るとしました。

さらに、協議では仮称《健康支援食品》等として素材の機能性や安全性の表示を許可する方向で薬事法規制を緩和することを骨子とする構造改革特区申請に向けて活動を進めるとの認識で一致しました。



本号のニュース

- ・第26回自然免疫賦活技術研究会の開催
- ・ふるさと文庫より小冊子発刊
- ・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介

— 目次 —

- ・第26回自然免疫賦活技術研究会開催される1
- ・ふるさと文庫「マクロファージ活性化に小麦発酵抽出物」発刊!!1
- ・平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択される.....2
- ・効果実証試験始まる2
- ・第3回四国食品健康フォーラム開催2
- ・自然免疫賦活技術研究会 会員企業紹介
第3回 有限会社タカ企画3
- ・食品開発展2008Hi/S-tecに出展3
- ・第3回倫理委員会の開催3
- ・ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー4
- ・LSIN会員募集4
- ・編集後記4

ふるさと文庫「マクロファージ活性化に小麦発酵抽出物」発刊!!

ハート出版株式会社より《ふるさと文庫》「マクロファージ活性化に小麦発酵抽出物～免疫力を高めて生活習慣病に打ち勝つ天然の素材～」(杣源一郎著)が発刊されました。小麦発酵抽出物が誕生するまでの苦労話を含め、小麦発酵抽出物の様々な用途、機能、安全性などに関する情報満載の1冊になっています。

ハート出版社はこれまでも様々な食品素材をとりあげて機能や安全性などについてシリーズで紹介を続けています。今回、小麦発酵抽出物を取り上げられたことは、小麦発酵抽出物の有用性を広く知って頂くために意味があると考えています。この冊子は一部250円(本体238円)です(全47頁)。ハート出版株式会社のホームページより購入できます。



平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択される

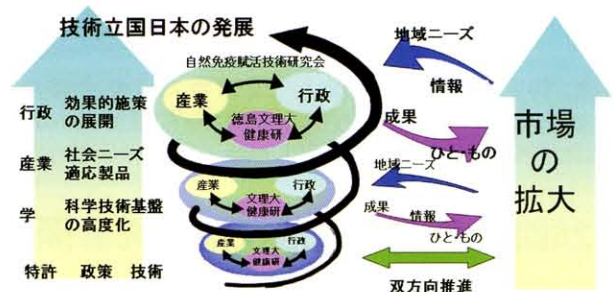
徳島文理大学(学校法人村崎学園)が、事業名「自然免疫に基づく新規な感染防除技術の開発」(研究代表者: 杉源一郎)平成20年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(文部科学省)に採択されました。

本事業は平成15～19年度に実施した「私立大学学術研究高度化推進事業・社会連携研究推進事業」で得た、「糖脂質は安全・安心に自然免疫を活性化し、畜・水産動物の感染防除を達成する」との成果を基盤に、多様性に富む糖脂質の特異的自然免疫活性化機構を明らかにし、この有効活用に向けた基礎研究を進展させると共に、研究推進母体の「自然免疫賦活技術研究会」を更に活発化して、「自然免疫の活性化」に着目した安心・安全な感染防除技術を開発するための産官学連携の研究拠点を形成することを目的としています。

この事業の成果として、学術面では、自然免疫機能を調整する複数の糖脂質(群)が見出されることを初め、糖脂質群を用いた健康維持のメカニズム解明が進むことが期待されます。

また、産業面では、抗生・化学物質に代わる安心・安全な感染防除飼料や、ヒトに対し、疾病予防や健康維持を達成する

産学官連携による社会・地域貢献スパイラル



技術として自然免疫を活性化する糖脂質の活用が期待できます。さらに、自然免疫に基づく新規な感染防除技術開発拠点を形成するとともに健康・バイオ関連の産業集積が期待されることから、研究拠点を形成できると考えられます。

効果実証試験始まる



NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワーク(LSIN)は、「血糖値・コレステロールが気になる方むけのお茶」の効果実証試験を始めました。効果実証試験は、LSIN連携医療機関であるセントラルパーククリニック(香川県高松市 中本尊院長)の協力のもと実施しています。

試験は、40歳以上70歳未満の男女で糖尿病予備群(血糖値100-125mg/dl、HbA1c 5.2-6.0%)と脂質異常群(中性

血糖値・コレステロールが
気になるあなたに
『生活習慣に着目した食による健康作りの一助に!』



脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満またはLDLコレステロール120mg/dl以上で未治療の方)を対象に行っています。試験方法は、Double Blind Test(二重盲検法)を採用しています。10月より試験を開始しており、12月に終了予定です。今回得られた結果は、自然免疫賦活技術研究会やニュースレターで公表予定です。

第3回四国食品健康フォーラム開催

平成20年11月25日(火)、ウェルサンピア高知(高知県高知市)で、第3回四国食品健康フォーラムが開催されました。

今年の四国食品健康フォーラムは、特に水産資源を中心にして「地域資源を活かした付加価値のある商品づくり!」をテーマに開催されました。

基調講演では、杉源一郎氏(LSIN)が「微生物に着目した地域素材のエビデンスに基づく新しい事業展開の提案」、リレー講演では中塚義春氏(川崎三鷹製薬(株))が「自然免疫を賦活する飼料開発と今後の事業展開」を発表されました。

第3回 四国食品健康フォーラム
～地域食材活用産学官交流会～
定員:150名
日時 平成20年11月25日(火) 11:00～17:00
場所 ウェルサンピア高知(3階) レインボーホール
フォーラム 参加無料

このフォーラムから発信される情報により四国での健康・バイオへの取り組みが一層強化されることが期待されます。LSINも活動の一翼を担っていきたいと考えています。

有限会社タカ企画

有限会社タカ企画は、健康食品、化粧品などの研究・開発・企画・営業のコンサルを業務として、平成17年11月に創業しました。

当然のことながらこれらの商品はその有用性が確認されていることが必要であり、また、品質面でも安全性が担保されていることも必須であります。ところが、前者に関しては満足なデータがない素材や商品があまりにも市場に氾濫していることが気がかりです。

最近、EBM (Evidence Based Medicine) という言葉が使われ出しましたが、本来医薬品では「人での大規模な市販後データに基づいて最適な医薬品を使う」という意味で使われ出した言葉ですが、この業界では「動物でのデータがある」という意味で誤って使っている現実があります。また、後者においては、意図的に医薬品成分を混入させる不埒な業者は論外としても、中身を理解していない新規参入業者が増えていることから業界全体として如何にレベルアップするかが求められています。例えば、有効濃度には程遠い素材含量でも〇〇入りと明記していたり、商品の安定性を考慮して商品を開発する思想がないことなどが今後大きな問題になると思われます。

また、最近品質を担保するためにGMP (Good Manufacturing Practice) という言葉が使われ出しまし



糖尿病・ダイエット向けの商品として自然免疫応用技研(株)からの技術協力を得て開発した栄養機能食品

たが、本来ハード(設備)とソフト(記録、教育など)が揃っていることが必要ですがこの精神を無視した使い方をしていることも大きな問題です。

このような業界の現状をなんとか打破してより良い商品を世に出したいと考えていた時、永井先生のご紹介で幸運にも小麦醗酵抽出物との出会いがありました。小麦醗酵抽出物は、有効性・安全性の両面で安心して使用でき、さらに営業活動に必要な薬事法に抵触しないキャッチコピーを持つ優れた素材だと確信するに至り、人々の健康的な生活の維持に貢献するために世界中に広めたいと考えています。

食品開発展2008Hi/S-tecに出展



平成20年10月15(水)~17日(金)の3日間、東京ビッグサイトにおいて、今年で19回目を迎える「食品開発展Hi / S-tec」が開催されました。

本食品開発展では、国内外の企業を含め580組織が参加し、展示のほか、33演題の記念セミナーと300演題以

上の出展社プレゼンテーションが8会場に分かれて実施されました。研究会メンバーとしては、コンビ(株)および自然免疫応用技研(株)がブース出展、ヤエガキ醗酵技研(株)がパネル展示を行ないました。発酵および免疫賦活をキーワードにする3社の展示ブースおよびパネル展示に、多くの訪問者がありました。

また展示会セミナーでは、コンビ(株)が、前回の研究会で発表した内容を紹介した「著しい相乗効果~免疫賦活活性における乳酸菌EC-12と小麦発酵抽出物」の演題で、自社製品である乳酸菌素材EC-12と自然免疫応用技研(株)が販売する小麦発酵抽出物の組合せによる免疫賦活の相乗効果についてプレゼンテーションを行ないました。

コンビ(株)は、この結果を受けて、今後両素材の最適配合量を決定し、ゆくゆくは、高付加価値のプレミックス製剤を市場に投入していく予定とのことです。

第3回倫理委員会の開催

平成20年9月25日(木)、シンボルタワーオフィスサポートセンター(香川県高松市)で第3回NP0法人環瀬戸内自然免疫ネットワーク(LSIN)倫理委員会が開催されました。LSIN臨床部会より審議事項が2題申請され、それぞれについて審議が行われました。

効果実証試験については、委員から試験対象者の条件や除外項目の明確化、健康被害が起こった際の対応(保険について)、個人情報保護法に関する文言の記載などについて意見が述べられました。その結果審議内容に沿って、一部計画を修正または配慮して実施することを条件



にして承認されました。

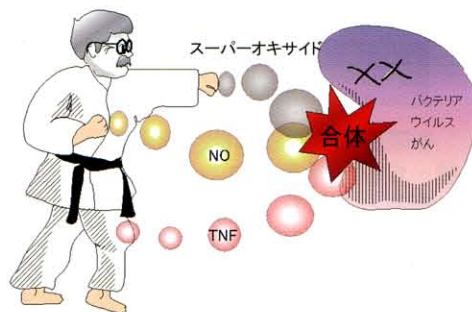
また、効果実証試験標準作業手順書(案)については、大筋で了承されましたが、委員より様々な意見が出されたため、それらを集約し臨床部会で最終案を作成したのち、再度審議されることになりました。

ちょっと一息：ひげ博士のホットレポートー最新免疫学講座ー

おっほん。もうみんなはマクロファージが細菌やウイルス、がん細胞を排除することは知っておるのう。しかし、どうやって排除しているかは知っているおるかのう？

第一には活性酸素じゃ。マクロファージや好中球の産生する活性酸素はスーパーオキシド、ヒドロキシラジカル、過酸化水素などいろいろある。活性酸素は悪者にされておるが、これがなかったら感染症で簡単に病気になっておる。

第二に一酸化窒素(NO)じゃ。一酸化窒素というと毒性のあるガスで大気汚染なんかで有名なNOxの一つじゃの。おもしろいことに、体の中でNOガスが出来て、それが病原体やがん細胞を殺しているんじゃ。さらにすごいのは、スーパーオキシドとNOが合体してパーオキシナイトレイトという物質になると強い作用を示すんじゃ。ダブル攻撃というイメージじゃのう。腫瘍壊死因子(TNF)やインターフェロンともNOは共同作用することが知られておる。つまり、活性化マクロファージの多方面攻撃というわけじゃ。こんな感じじゃ。押忍。



LSIN会員募集

LSINでは会員を募集しています。LSINの活動に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。

●入会金・年会費一覧

入会を希望される方は、以下の入会手続きをご参考ください。

(1) ホームページからの入会手続き

下記のURLにアクセスし、ホームページ内の「入会のご案内」→「入会申込フォーム」に必要事項を明記の上、お申込ください。

LSIN URL : <http://www.lsin.org>

(2) 郵送またはFAXによる入会手続き

「入会申込書」をLSIN事務局まで郵送あるいはFAXでご請求下さい。

「入会申込書」に必要事項を明記の上、事務局まで郵送あるいはFAXにて送付ください。

「入会申込書」の下部に記載している振込先へ、入会金・年会費をお振込ください。

事務局から「入会手続き完了」の連絡をお送りします。

※「入会手続き完了」のご連絡は、事務局にて入会申込書と入金照合し、入会手続きが完了した時点でお送りします。

入会申込書の送付と入会金・年会費のお振込完了後、2週間を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

入会金			年会費		
正会員	個人会員	10,000円	正会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
賛助会員	個人会員	10,000円	賛助会員	個人会員	10,000円
	企業会員	30,000円		企業会員	50,000円
モニター会員	入会金なし		モニター会員	年会費なし	

〒771-1342 徳島県板野郡上板町佐藤塚字西388-1
 特定非営利活動法人 環瀬戸内自然免疫ネットワーク
 TEL:088-652-6026 FAX:088-669-2967
 (MOBILE:090-2783-5885)
 E-mail: npolsin@lsin.org URL: <http://www.lsin.org>

編集後記

LSINニュースレター No.5をお届けします。

今年7月にLSINと連携協定書を結んだ財団法人三宅医学研究所(香川県高松市)とのコラボレーションで、10月より「血糖値、コレステロールが気になる方むけのお茶」の効果実証試験がセントラルパーククリニックで開始となりました。これは、協定後初めての共同事業となります。LSINと三宅医学研究所は、今後もこのような取り組みを積極的に進めていきます。

また、1ページの第26回自然免疫賦活技術研究会開催の記事にもありますが、食品において素材の機

能性や安全性の表示を許可する方向で薬事法規制を緩和することを骨子とする構造改革特区案を、LSINが提案主体となって11月に内閣府へ提出しました。まだ提案段階であり、特区が実現するかどうかわかりませんが、皆様のお力もお借りして実現へ向けて努力していきます。

最後になりますが、お忙しい中、原稿をご執筆いただいた方々、編集委員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

編集長 中本 尊

LSIN事務局

LSINニュースレター編集委員

編集長 中本 尊 編集員 稲川裕之 中本優子 谷口芳枝

平成20年11月27日発行